



人を想い、
地球を想う。

第98期 年次報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



三ツ星ベルト株式会社

当期純利益は、前年比13.4%の増加。 今後も「高機能・高精密・高品質」な製品づくりに注力していきます。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申しあげます。

第98期の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心から厚くお礼申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、震災復興需要やエコカー補助金に伴う個人消費の拡大を背景に緩やかに持ち直しましたが、夏場以降は、債務危機に揺れる欧州に加え、中国などの海外経済の減速によって生産と輸出が鈍化しました。さらには、日中関係悪化の影響やエコカー補助金の終了による個人消費の停滞により、景気は弱い動きで推移しました。

昨年末の政権交代以降は、新政権の経済政策への期待感などから、円高基調の緩和と株価の回復が進行し、国内景気が浮揚する兆しも見られました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

今後の企業を取り巻く環境は、国内経済は、新政権と日銀の脱デフレ政策が効果を持続すれば円安と株高が進行し、輸出と個人消費の持ち直しによる生産活動の回復によって、景気が緩やかに回復するとの期待が高まっています。一方、海外では堅調な東南アジア新興国経済に加え、米国経済に

景気復調の兆しが見られるものの、欧州は依然として低迷しており、また、中国も景気が減速するなど、必ずしも楽観視できない状況にあると見られています。

当社グループでは、原材料価格高、アジア諸国での人件費高騰やユーザの生産拠点の海外移管による国内需要の減少による収益の圧迫が懸念されますが、このような状況に対応するため、経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、技術力・開発力の向上と生産体制、販売体制の強化を積極的に進めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申しあげます。

平成25年6月



代表取締役会長

西河 紀男



代表取締役社長

垣内 一

連結業績概況

当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高555億81百万円(前連結会計年度比0.4%増)、営業利益52億20百万円(前連結会計年度比8.3%減)、経常利益59億92百万円(前連結会計年度比6.1%増)、当期純利益は37億35百万円(前連結会計年度比13.4%増)となりました。

なお、当連結会計年度より、「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、前連結会計年度との比較にあたっては、前連結会計年度について遡及適用後の数値に基づき算出しております。

財政状態については、当連結会計年度末は、たな卸資産の増加等により流動資産が14億98百万円、有形固定資産が12億円、株価の上昇に伴い投資その他の資産が10億10百万円とそれぞれ増加した結果、総資産は前連結会計年度末比37億15百万円増加の727億90百万円となりました。

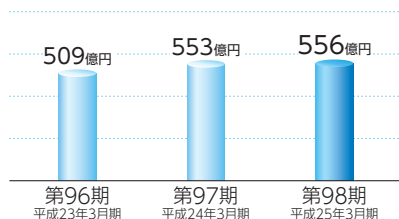
一方、負債は、流動負債が5億78百万円増加したものの、固定負債が9億78百万円減少したことから、前連結会計年度末比4億1百万円減少の286億44百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得による減少があったものの、当期純利益等の計上により利益剰余金が26億28百万円増加したほか、株価の上昇や為替の影響によりその他の包括利益累計額が25億11百万円増加した結果、前連結会計年度末比41億17百万円増加の441億46百万円となりました。

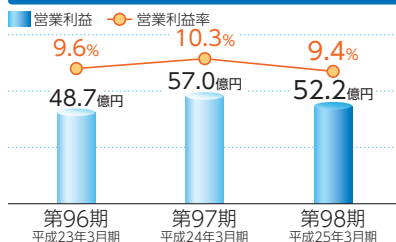
以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の58.0%から60.6%に上昇しました。



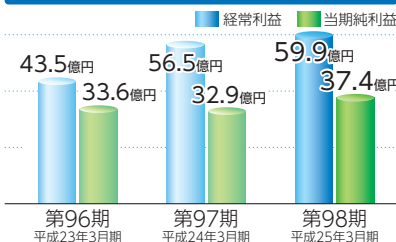
売上高



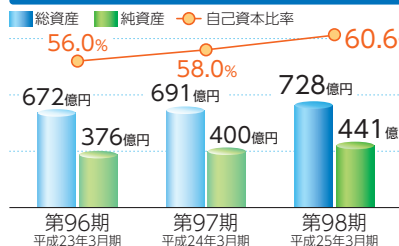
営業利益・営業利益率



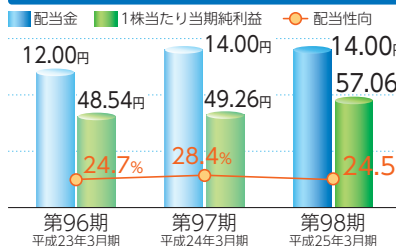
経常利益・当期純利益



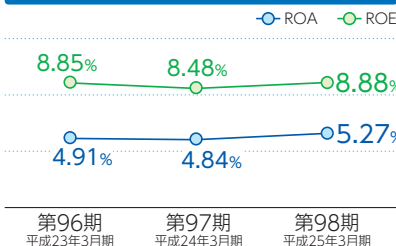
総資産・純資産・自己資本比率



配当金・1株当たり当期純利益・配当性向

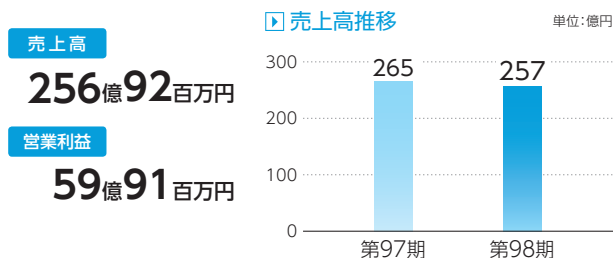


ROA (総資産利益率)・ROE (自己資本利益率)



事業部門別状況

国内ベルト事業



自動車用ベルトの新車組み込みライン用は、期間前半はエコカー補助金による新車販売の増加に伴い好調に推移しましたが、補助金終了後の落ち込みにより通期では前連結会計年度並みにとどまりました。補修用ベルトは欧州経済不安による輸出向けの需要が減少し、全体では前連結会計年度を下回る結果となりました。

一般産業用ベルトは、農業用が前連結会計年度並みに推移しましたが、総じて国内市況が低調であったことから売上高が減少しました。

OA機器用ベルトはユーザの海外生産移管や海外現地調達が進んだことにより国内需要が低下しました。

運搬ベルトは、食品業界向け新商品の市場投入が奏功し売上高が増加となりました。

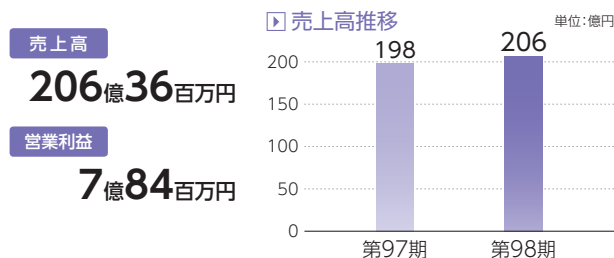
したが、合成樹脂素材は売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は256億92百万円（前連結会計年度比3.0%減）、営業利益は59億91百万円（前連結会計年度比9.5%減）となりました。



節電効果を最大2倍に向上させた省エネVベルト「ULTRA e-POWER(ウルトライーパワー)」

海外ベルト事業



アジアでは、新興国市場における需要の高まりに対応すべく積極的に生産・販売体制を強化した結果、一般産業用・自動車用・OA機器用ベルトがいずれも好調に推移しました。

米国では、日系ユーザ向け自動車用ベルトが前連結会計年度並みに推移し、一般産業用ベルトでは拡販活動の効果により売上高が増加しました。

一方、欧州では景気後退による消費の低迷により、売上高が減少となりました。

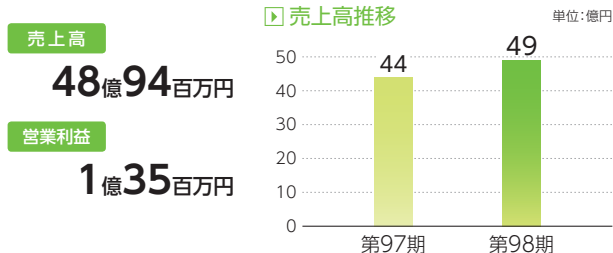
その結果、当事業の売上高は206億36百万円（前連結会計年度比4.0%増）、営業利益は7億84百万円（前連結会計年度比36.3%減）となりました。



耐油・耐熱性を高めたタイミングベルト「油中タイミングベルト」

(注) 当連結会計年度より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、第97期については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

建設資材事業



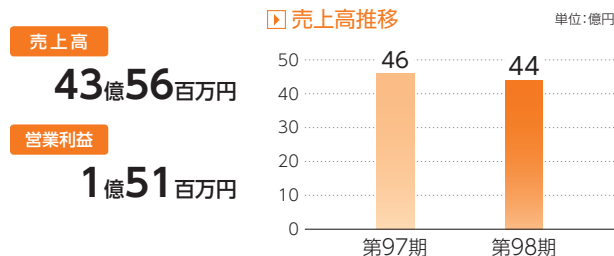
建築部門は建設投資全体に回復の動きが見え、公共工事や民間の改修工事物件の売上高が増加しました。土木部門は廃棄物処分場関連の物件が寄与し、売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は48億94百万円（前連結会計年度比10.9%増）、営業利益は1億35百万円（前連結会計年度比52.4%増）となりました。



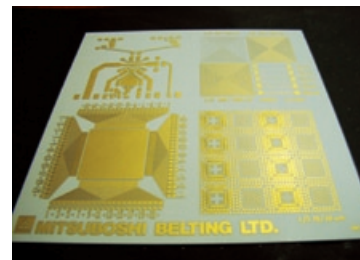
加硫ゴムシートを用いた屋上防水工法

その他



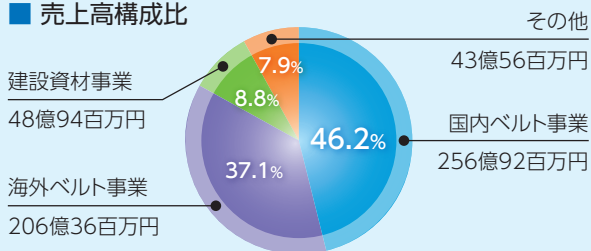
その他には、エンジニアリング ストラクチャルフォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は43億56百万円（前連結会計年度比5.5%減）、営業利益は1億51百万円（前連結会計年度比284.9%増）となりました。

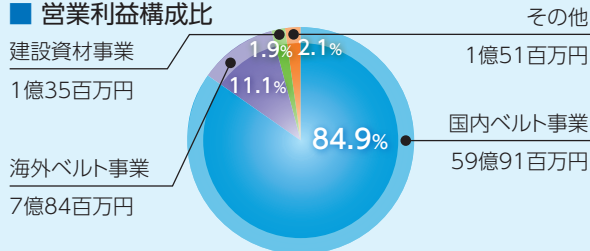


三ツ星ベルトのセラミックス回路基板が、多様化する電子機器の信頼性を高めています

売上高構成比



営業利益構成比



(注) 当連結会計年度より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、第97期については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

三ツ星ベルトは新分野の製品として 「銅ペースト」を生産・納入開始いたしました。

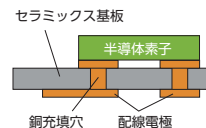
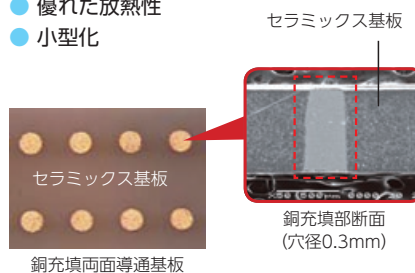
平成26年 打ち上げの人工衛星に搭載が決定されました。

電極や配線材料としてセラミックス基材に使用される銅ペーストの用途が拡大しています。
過酷な信頼性試験をクリアし、カーナビなどの電子機器を保護する静電気対策部品、
人工衛星に搭載する通信機器に採用されています。

通信機器用銅充填両面導通基板



- 高い環境信頼性
- 優れた導電性
- 優れた放熱性
- 小型化



使用例

- ・人工衛星、携帯電話などの無線通信機器
- ・光通信などの有線通信機器 等

除雪機用 Vベルト “SNOW-X(スノー エックス)”を発売

寒冷地対策の除雪機用Vベルトとして“SNOW-X”を発売しました。

“SNOW-X”は、新開発のカバー布・V芯ゴムを採用することで、低温時での耐摩耗性・耐亀裂性を飛躍的に向上させ、長寿命化を達成しております。

寒冷地での除雪作業の機械化が進む昨今、除雪機に使用されるベルトの長寿命化をはかることで、冬場の重労働である、除雪作業の効率化と作業時間短縮に貢献してまいります。



FOOMA JAPAN (2013国際食品工業展)に出展

当社は、FOOMA JAPAN (2013国際食品工業展)に出展しました。樹脂コンベヤベルトの新たなモノづくりコンセプトで開発力を強化した新シリーズ「Tailorbelt® (テーラーベルト)」や食品業界向けでご好評を頂いております「ママライン®」シリーズ、抗菌・防カビ樹脂素材など、食品機械分野への新製品を紹介しました。

主な出展品

樹脂コンベヤベルト 「Tailorbelt®」	Premium 電光式エンドレス	電光割れに強い、ナイフエッジでのアキュム走行が可能
	Premium シール	ベルト耳部から水や油の浸透を防ぎます
	ブルーベルト	異物識別が容易なスカイブルー
「ママライン®」 「ママラインプラス」	低収縮ベルト	塩水や肉汁などのすり込みによる収縮を防止
	超鏡面ベルト	トップレベルの平滑性で、汚れの拭き取りが容易 高い衛生性を実現
	耐薬品洗浄ベルト	耐薬品性に優れたポリウレタンを採用
エンジニアリング プラスチック	「クリンピー®」	抗菌性・防カビ性に優れたポリエチレン樹脂素材



連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

Point 1 流動資産

流動資産は、たな卸資産が19億33百万円増加したことなどにより、前期末に比べて14億98百万円増加しました。

Point 2 固定資産

固定資産は、新規設備投資に伴う有形固定資産が12億円増加、株価の上昇等に伴い投資有価証券が9億78百万円増加したため、前期末に比べて22億18百万円増加しました。

Point 3 純資産

純資産は、当期純利益等の計上により利益剰余金が26億28百万円増加したほか、株価の上昇、為替の円安などにより、その他の包括利益累計額が25億11百万円増加したため、前期末に比べて41億17百万円増加しました。以上の結果、自己資本比率は前期末と比較して2.6ポイント上昇して60.6%となりました。

(注1) 当期より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、前期については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(注2) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

科目	前期 平成24年3月31日現在	当期 平成25年3月31日現在
資産の部		
流動資産	40,637	42,135
現金及び預金	14,815	14,875
受取手形及び売掛金	13,411	12,808
その他	12,411	14,450
固定資産	28,437	30,655
有形固定資産	19,608	20,808
無形固定資産	68	76
投資その他の資産	8,760	9,770
資産合計	69,075	72,790
負債の部		
流動負債	18,927	19,505
固定負債	10,117	9,139
負債合計	29,045	28,644
純資産の部		
株主資本	40,533	42,138
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	7,130	5,480
利益剰余金	29,289	31,917
自己株式	△ 4,036	△ 3,410
その他の包括利益累計額	△ 503	2,008
純資産合計	40,029	44,146
負債純資産合計	69,075	72,790

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	55,339	55,581
売上原価	38,448	38,995
販売費及び一般管理費	11,195	11,364
営業利益	5,695	5,220
営業外収益	577	1,212
営業外費用	624	440
経常利益	5,648	5,992
特別損失	311	—
税金等調整前当期純利益	5,336	5,992
法人税、住民税及び事業税	1,668	1,945
法人税等調整額	373	311
少数株主損益調整前当期純利益	3,294	3,735
当期純利益	3,294	3,735

»Point 4 売上高

売上高は、前期に比べて2億41百万円増加し、555億81百万円となりました。連結売上高は3期連続で増加しています。

»Point 5 経常利益

経常利益は、円安に伴う為替差益の計上などにより前期と比べて3億43百万円増加の59億92百万円となりました。経常利益率は昨年に引き続き10%以上を確保しております。

»Point 6 当期純利益

当期純利益は、税金等調整前当期純利益が6億56百万円増加したことにより、前期と比較して4億41百万円増加の37億35百万円となりました。

»Point 7 連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較して30億69百万円増加の57億31百万円の収入となりました。主な要因は、前期と比較して税金等調整前当期純利益が6億56百万円増加したことに加え、売上債権が23億22百万円減少した反面、仕入債務が6億2百万円増加したことによるものです。

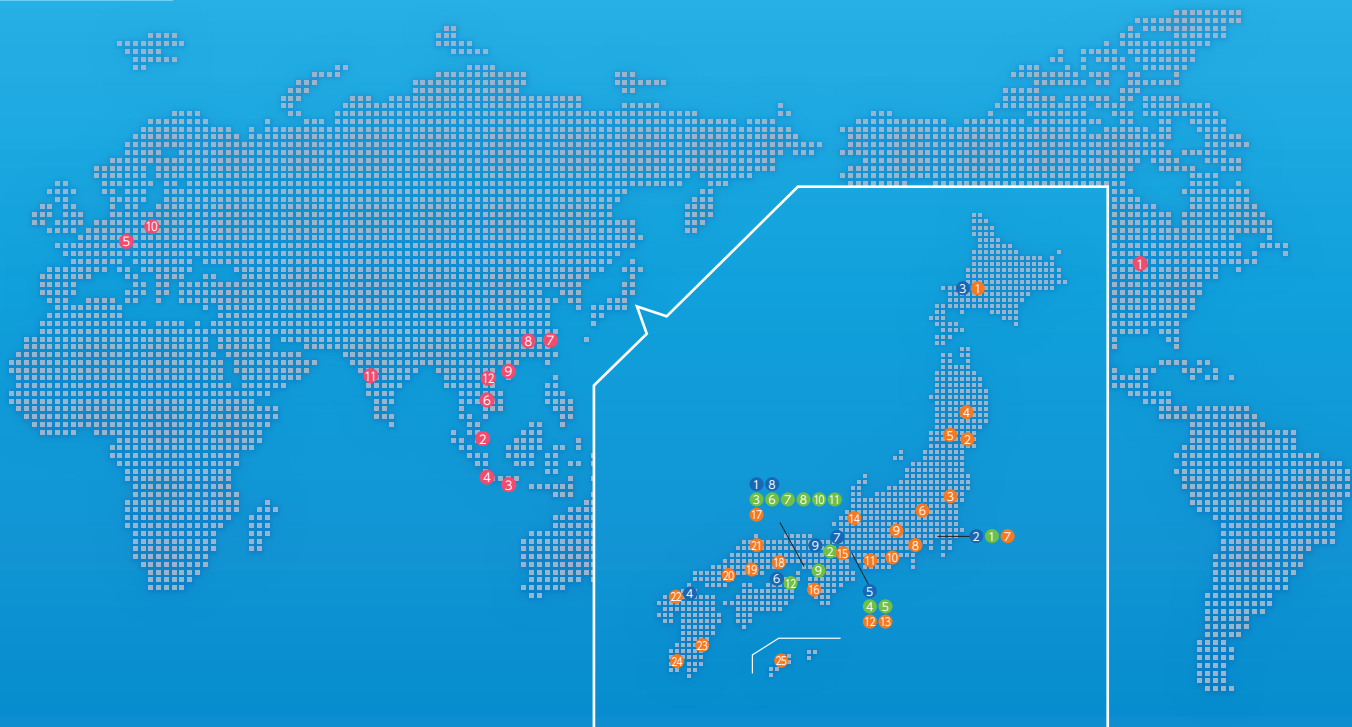
一方、財務活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較して38億30百万円減少の40億45百万円の支出となりました。主な要因は、前期と比較して長期借入れによる収入が24億38百万円減少したことに加え、自己株式の取得による支出が10億23百万円増加したこと等によるものです。

また、当期に新規連結を行ったため、現金及び現金同等物を3億92百万円を加算した結果、現金及び現金同等物の当期末残高は143億17百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,662	5,731
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,541	△ 3,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 215	△ 4,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 62	574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	843	△ 884
現金及び現金同等物の期首残高	13,965	14,808
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	392
現金及び現金同等物の期末残高	14,808	14,317



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンベヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ミベック(株)
- ⑨ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑩ 神戸三ツ星サービス(株)
- ⑪ エムエムコート(株)
- ⑫ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ いわき営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 北関東営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 神奈川営業所
- ⑨ 山梨営業所
- ⑩ 静岡営業所
- ⑪ 浜松営業所
- ⑫ 名古屋営業所
- ⑬ 小牧営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 長浜営業所
- ⑯ 和歌山営業所
- ⑰ 神戸営業所
- ⑱ 岡山営業所
- ⑲ 福山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松江営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 宮崎営業所
- ㉔ 鹿児島営業所
- ㉕ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

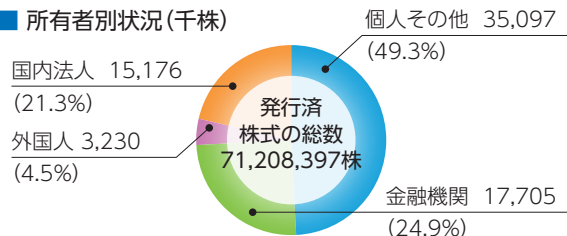
- ① MBL (USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ P.T. Mitsubishi Belting Indonesia
- ⑤ MBL Antriebstechnik Deutschland GmbH
- ⑥ Stars Technologies Industrial Limited
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑫ MITSUBOSHI BELTING VIETNAM CO., LTD.

株式の概況 (平成25年3月31日現在)

1. 株式

□ 発行可能株式総数	325,213,000株
□ 発行済株式の総数	71,208,397株
□ 株主数	7,725名

■ 所有者別状況 (千株)



■ 会社の概要 (平成25年3月31日現在)

□ 商号	三ツ星ベルト株式会社 Mitsuboshi Belting Ltd.
□ 創業	大正8年10月10日
□ 設立	昭和7年10月10日
□ 資本金	81億5,025万1,031円
□ 従業員数	701名
□ 営業品目	ベルト V型ベルト、歯付ベルト、伝動機器・装置、運搬ベルト及び装置、ポリウレタン製工業用品、合成樹脂素材、その他ベルト 建設資材 建築用防水シート、土木用遮水シート その他 エンジニアリング ストラクチャル フォーム、その他

□ 事業場	神戸本社 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
	東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2500代表
	札幌営業所 札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号 ☎(011)841-9135代表
	福岡営業所 福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4451代表
	名古屋工場 愛知県小牧市大字西之島1818番地 ☎(0568)72-4121代表
	四国工場 香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3181代表
	滋賀工場 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2 ☎(0740)27-0133代表
	神戸事業所 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
	綾部事業所 京都府綾部市城山町7番1 ☎(0773)43-3051代表

2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,401,000	6.18
トヨタ自動車株式会社	2,355,125	3.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,340,550	3.29
星友持株会	2,210,870	3.10
小田欽造	2,070,000	2.91
西松建設株式会社	2,000,000	2.81
三ツ星ベルト社員持株会	1,785,130	2.51
日本生命保険相互会社	1,562,875	2.19
三井物産株式会社	1,500,000	2.11
東京海上日動火災保険株式会社	1,376,804	1.93

(注) 上記のほか当社所有の自己株式6,589,433株があります。

■ 役員 (平成25年4月1日現在)

代表取締役 会長	西河紀男	常務執行役員	黒野正治
取締役 副会長	喜田宏	常務執行役員	對川芳憲
代表取締役社長 兼社長執行役員	垣内一	常務執行役員	安井光和
取締役兼 副社長執行役員	野澤信太	常務執行役員	片山孝
取締役兼 常務執行役員	山口良雄	執行役員	熊野格夫
取締役兼 常務執行役員	山口中良雄	執行役員	竹中昌弘
取締役兼 常務執行役員	中嶋正仁	執行役員	羽村健
取締役兼 常務執行役員	小田芳裕	執行役員	佐々木孝
監査役 (常勤)	井ノ口正弘	執行役員	増田健吉
監査役	奥島吉雄	執行役員	西河俊伸
監査役	宇佐美貴史	執行役員	池田浩
監査役	若林邦昌	執行役員	陳振耀
		執行役員	伊藤辰雄
		執行役員	森野峰雄

(注) 監査役宇佐美貴史及び若林邦昌の両氏は、社外監査役であります。

会計監査人 新日本有限責任監査法人

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- 上場金融商品取引所 東京・大阪
- 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料)0120-094-777
- 公 告 方 法 電子公告により行う。

公告掲載ホームページは、http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi_koukoku/index.htmlに掲載しております。

なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

www.mitsuboshi.co.jp

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所になります。

UD FONT



この冊子の印刷には、環境に配慮した
植物油インキを使用しています。